

# 令和4年度 事業報告書

## I. 事業団事務局（本部）

### 1. 理事会及び評議員会等の開催状況

理事会は2回、評議員会は1回開催され、令和3年度決算の承認、令和4年度補正予算、令和5年度事業計画、予算等について承認された。

#### (1) 監事監査

- ・ 開催期日 令和4年5月18日(水)10時00分～12時00分
- ・ 場 所 事業団本部
- ・ 監査内容
  - ① 令和3年度理事の業務執行状況について
  - ② 令和3年度財産状況について

#### (2) 令和4年度第1回理事会

- ・ 開催期日 令和4年5月31日(火)9時30分～11時15分
- ・ 場 所 ワークサポート陽だまり
- ・ 決議事項
  - ① 令和3年度事業報告及び決算(計算関係書類及び財産目録)の承認について
  - ② 監事辞任に伴う候補者の選任について
  - ③ 定時評議員会の招集について
  - ④ 施設長の任命について
- ・ 報告事項
  - ① 理事長の職務執行状況について
  - ② 社会福祉充実計画(残額)について

#### (3) 令和4年度第2回理事会

- ・ 開催期日 令和5年3月28日(火)14時00分～15時15分
- ・ 場 所 ワークサポート陽だまり
- ・ 決議事項
  - ① 令和4年度収支補正予算の件
  - ② 令和5年度事業計画の件
  - ③ 令和5年度収支予算の件
  - ④ 理事候補者選任の件
  - ⑤ 施設長任命につき議決を求める件
  - ⑥ 臨時評議員会の招集について

#### 報告事項

- ① 理事長の職務執行状況について
- ② 各種規程の改正について

#### (4) 令和4年定時評議員会

- ・ 開催期日 令和4年6月16日(木)14時00分～15時00分
- ・ 場 所 ワークサポート陽だまり
- ・ 決議事項

- ① 令和3年度事業報告及び決算(計算関係書類及び財産目録)の承認について
- ② 監事辞任に伴う選任について
- ・ 報告事項
  - ① 理事長の職務執行状況について
  - ② 社会福祉充実計画(残額)について

## 2. 職員の状況

令和4年度における職員の採用状況は、障がい福祉事業部門の支援員等については、正規職員2名を採用した。その後、欠員補充のため、臨時職員等の採用を行った。

保育園においては、短大卒の正規職員を2名採用した。その後の補充については、臨時職員及びパート職員を採用し配置した。

また、年度途中退職者は、身体的理由3名、自己都合理由2名 計5名。

(内訳)

(令和5年3月末現在)

区 分	職員数	備考
事業団本部事務局	5名	理事長、課長 他
敦賀市立やまびこ園	25(7)名	園長(兼)、園長補佐、サビ管、支援員、栄養士、看護師
ワークサポート陽だまり	14(6)名	所長(兼)、所長補佐(兼)サビ管、支援員
敦賀市障害者地域生活支援センターこだま	4名	センター長(兼)、センター長補佐(兼)、相談支援専門員、生活支援員
嶺南障害者就業・生活支援センターひびき	5名	センター長(兼)、センター長補佐(兼)、就業支援員
グループホーム桜ヶ丘・新和	2名	管理者(兼)サビ管、世話人、(委託世話人8名)
はなえみ	13(7)名	所長(兼)、サビ管、支援員、看護師
松原保育園	26(9)名	園長、主任保育士、保育士、栄養士(兼)、看護師
木崎保育園	22(5)名	園長、主任保育士、保育士、栄養士(兼)、看護師
金山保育園	21(7)名	園長、主任保育士、保育士、栄養士(兼)、看護師
敦賀市自立促進支援センター	4(1)名	センター長(兼)、センター長補佐(兼)、主任相談支援員、相談支援員、就労支援員
合 計	141(42)名	
平均年齢	44歳	

(注) ( ) 内はパート職員の内数

## 3. 財務の状況について

利用者数および園児数の減少により減収が予想されていたため、毎月の収支状況を把握し、経費支出の管理を徹底した。10月以降電気料金等光熱水費の高騰に伴い、やまびこ園指定管理料増額分の変更協定を取り交した。保育園については、積極的に園児の受け入れに取り組んだ。

## 4. 特記事項

コロナ禍において、昨年同様、法人統一の基準および事業別の基準を策定し、安定したサービスを継続して提供するために、感染対策についての情報の共有や対応等の報告に取り組んだ。

また、引き続き社会保険労務士と業務契約を締結し、日常的にアドバイスを受け、人事・労務管理の整備等に取り組んだ。

## Ⅱ. 障害福祉サービス等事業

### 1. 敦賀市立やまびこ園

令和4年度末時点での利用契約者数は、施設入所支援30名、生活介護39名である。施設入所支援30名のうち重度障害者支援加算対象者7名に対して、計画作成と計画に基づいた支援を提供した。

施設入所支援としては、2名が亡くなられ退所となり、3名が新規利用に至った。障害者支援施設として例年同様に入所受け入れに関する問い合わせが多い状況であったが、空床ができた際に待機者に打診をするも断られる状況もあった。しかし、難病が発症し急激な身体機能の低下に伴い、自宅での生活が難しくなり長期の短期入所利用から入所利用に至ったケースもあった。生活介護においては、新規の利用者希望があり、多くが他法人との併用利用をされている。短期入所や日中一時の利用についてのニーズも多く、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて受け入れを行った。

施設入所支援において、9月に新型コロナウイルスの集団感染が発生し、利用者27名職員11名が罹患し、2名が入院する結果となった。

他法人や敦賀市との連携を図り、当法人内の他事業所からの応援を受けながら収束に向けた取り組みを継続したが、約3週間にわたって生活介護事業、短期入所、日中一時の受け入れを停止する事となった。

生活介護事業の日中活動については、当法人の新型コロナウイルス対策基準に基づき、感染対策を行いながら、通所、入所ごとの活動や、感染状況によっては合同でのサロンやミュージックケアなどを行った。重度、高齢化が進む中、「やまびこ園で生きがいを感じる」ことに主眼を置き、「ワーク」「サロン」「リラク」「ライフ」の活動を展開した。施設入所支援においては、利用者の高齢化に伴い身体面・認知面双方において重度化している状況が続いており、介護施設での経験をもつ職員を中心とした介護部門において検討を重ねた。入所者の中で65歳以上が半数を占める状況となり、より専門的な介護技術、介護保険制度についての知識も必要となってくると思われる。

#### 1. 施設の概要

- (1) 名称 敦賀市立やまびこ園  
 (2) 種類 指定障害者支援施設  
 (3) 定員 生活介護 50名、施設入所支援 30名、短期入所 4名、  
 日中一時支援 4名（原則）

#### 2. 利用状況（令和5年3月31日現在）

##### 【延利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
生活介護	586	586	699	618	689	521	607	598	574	572	585	680	7,315
施設入所	781	824	822	869	871	817	821	823	829	847	781	899	9,984
短期入所	15	28	37	42	54	10	46	47	63	52	54	48	496

##### 【支援区分別利用者数】

区分	1	2	3	4	5	6	計
生活介護	0	0	5	10	10	14	39
施設入所	0	0	2	9	7	12	30

【年齢別】

区別	18～29		30～39		40～49		50～59		60～69		70以上		合計			平均年齢		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	計
生活介護	1	1	6	3	6	2	4	1	4	2	3	6	24	15	39	50	58	53
施設入所	2	0	3	1	4	3	4	1	3	2	2	5	18	12	30	50	62	54

【短期入所】（令和4年4月～令和5年3月）

区 分	利用人数	利用回数	総算定日数
宿泊	23名	196回	496日

【日中一時】（令和4年4月～令和5年3月）

区 分	延利用者数
	1,116名

3. 施設の運営

「生活介護事業」「施設入所支援事業」「短期入所」「日中一時」の4つの事業を実施する中で、今年度も新型コロナウイルスの感染対策基準に即して、通所グループと入所グループとで活動スペースを分ける形で、これまで取り組んでいた日課内容を提供した。通所グループの活動については、「ワーク」「サロン」「リラク」を軸に少人数での活動を行い、一人一人に合わせたきめ細やかな支援を行うことができた。

入所グループについては、「カラオケ」「サロン」「リラク」「ライフ」を軸に季節感のある活動を提供した。

昨年度策定した法人の感染対策基準に則り、対策基準レベルに応じて合同での活動を行った。また、新型コロナウイルスの感染拡大の状況に応じて、様々な感染対策を講じた上で、行事や外出等を実施した。

施設入所支援事業に関しては、入所に関する問い合わせが引き続き多い状況に変化はないが、2名が亡くなられ退所となり、新たに3名の受け入れを行った。入所を希望されている方の中で緊急性などを加味して、現在も新規の入所者の確保に向けて調整を行っている。親亡き後を見据え、通所サービスを利用している家族や短期入所の利用を希望される家族からの問い合わせも多い。施設入所支援における利用者状況については、精神科に再入院となった利用者については、「試験外泊」を重ね、入院先の作業療法士とも連携を図り、本退院することができた。退院後の生活は定着しており、再入院には至っていない。

「短期入所」「日中一時」に関しては、引き続き利用希望の方が増えている状況に変わりはない。

「短期入所」については新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、利用希望については緊急性の高いケースを優先したが、利用については感染基準対策に基づいて、体調チェックリストの提出を依頼する形で対応した。

「日中一時」においては、土日は、4名程度、平日は、2名～4名程度の利用に制限を掛けつつも緊急性も考慮し、受け入れを行なった。

職員の研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も引き続き県外の出張は控え、リモートやオンラインでの研修を中心に参加した。県内の研修については集合形式での研修が再開されたため、業務上必要な研修である相談支援従事者初任者研修、サビ管研修（基礎・実践）や強度行動障害支援者研修（基礎、実践）等については、プログラム上必要な場合は集合形式での参加をした。

園内研修としては、今年度より虐待防止委員会の設置が義務化となり、法人内研修として虐待防止研修を障害福祉部全体で実施した。また、職員会議や支援会議の場を利用し、事業所内において

は、感染予防研修として防護服の脱着について実技研修を行い、虐待防止と身体拘束の適正化についての園内研修を実施した。

職員の育成として、今年度も“根拠に基づいた支援”を目標に掲げ、支援、介護、管理の3つの部門に分かれて、部門ごとに課題を共有した。部門別に分けることで、各々が有する課題が明確となった。支援部門では、対象者をリストアップし、発達障害、自閉症スペクトラム、強度行動障害の方に焦点を当てて検討した。介護部門では、高齢化が進むやまびこ園において、気になる高齢利用者の状況について情報共有を行った。管理部門では、施設整備や行事に関することなどに特化して、よりスムーズに業務が遂行できる仕組み作りを検討した。

また、個別ケースに対して、数名の利用者に焦点を絞り、氷山モデルを活用し、個別の支援について検討し、全体に周知を図り、取り組んだ。今後も、経験則ではなく根拠に基づいた支援が提供できるように、学習会で得た知識を現場支援や対応に繋げられる内容を継続していきたい。

#### (ア) 支援内容

生活介護事業において「やまびこ園で生きがいを感じる」ことに喜びや意欲を感じられる活動内容を目指した。穏やかで自分らしいペースの中でもやりがいや生きがいを見つけることができる活動の提供に重点を置き、スタートした。しかし、今年度も新型コロナウイルスの感染拡大の影響で活動の制限を余儀なくされ、外出や買い物外出等は実施を踏みとどまったが、近隣の花の名所を巡るなど、季節に応じたドライブを取り入れ、季節の行事やミュージックケア、やまびこフェスを、職員が提供できる内容で実施をした。活動スペースは今年度も通所と入所でグループ分けし、それぞれに活動提供を行った。また、園内でできる活動を模索し、「季節の日本舞踊」「お正月遊び」「豆まき」といった季節を感じるができる行事や創作活動、余暇活動を職員の創意工夫の元、提供した。さらに、今年度も月に1回土曜日開所を実施し、余暇活動、ミュージックケア、創作活動を行った。

施設入所支援においては、9月に発生した集団感染を機に、併用利用先の事業所の感染対策や感染状況を聴き取り、慎重に利用を判断した。また、年末年始等の長期帰省に関しては、感染対策を講じた上で帰省を可能としたが、定期的な帰省に関しては、感染状況によって帰省を中止することもあり、園で過ごす時間が長くなる方が増えた。面会については、法人の感染対策基準に基づいて、玄関での窓越し面会を行った。オンライン面会については、利用される方はいなかった。利用者の重度高齢化に伴い、歩行中の転倒やベッド、車いすからの転落が多く見られ、利用者一人ひとりの状態に合わせた介護用品や介護技術、知識を職員で共有し、少しでも園内で快適に過ごすことができるように努めた。

個別支援計画においては、例年同様、各担当のうち1名の利用者分はサービス管理責任者が作成し、各担当が作成した個別支援計画を確認することで支援内容等の検討を行った。可能な範囲で面談を行い、それ以外は電話でのモニタリングを中心に行った。

#### (イ) 日中活動の種類

- 「ワーク」：ウエス、ペットボトルラベルはがし、新聞紙たたみ、シュレッダー、メモ帳作り
- 「サロン」：絵画、四季の歌、塗り絵、紙芝居、ミニゲーム、近距離の散歩、軽運動、ボール遊び、健康体操、など
- 「リラク」：足湯、マッサージ、ハンドマッサージ、DVD など
- 「ライフ」：家庭菜園、居室清掃、衣替え（利用者と一緒に）など
- 「ボランティアによる活動」：今年度は活動なし
- 「余暇活動」：四季を感じることでできる行事を企画した。

#### 主な年間行事

月	行 事 名
4	花見散歩・桜まつり（日本舞踊）
5	入所余暇（こいのぼり）・春行事（こいのぼり作り）・法人内研修